

105-156

問題文

貧血の治療薬に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. クエン酸第一鉄は、体内で欠乏した鉄を補充し、ヘモグロビンを増加させることで、鉄欠乏性貧血を改善する。
2. ガベキサートは、セリンプロテアーゼを阻害することで、自己免疫性溶血性貧血を改善する。
3. ダルベポエチンアルファは、エリスロポエチン受容体を刺激し、赤芽球前駆細胞から赤血球への分化を促進することで、腎性貧血を改善する。
4. ピリドキシンは、体内で欠乏したビタミンB₁₂を補充し、DNA合成を促進することで、巨赤芽球性貧血を改善する。
5. コバマミドは、低下したヘモグロビン合成を促進することで、鉄芽球性貧血を改善する。

解答

1, 3

解説

選択肢 1 は妥当な記述です。

選択肢 2 ですが

ガベキサートは、抗トロンビン薬です。タンパク質分解酵素阻害薬でアンチトロンビン III 非依存的に凝固因子を阻害することにより、抗凝固作用を示します。肺炎や DIC(汎発性血管内血液凝固症) に用いられます。自己免疫性溶血性貧血には用いられません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は妥当な記述です。

選択肢 4 ですが

ピリドキシンは ビタミン「B₆」です。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

コバマミドは活性型ビタミン B₁₂ 製剤です。鉄芽球性貧血には用いられません。よって、選択肢 5 は誤りです。選択肢 4,5 の主語が逆と考えられます。

以上より、正解は 1,3 です。

参考)